



## 2020年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月14日

上場会社名 株式会社ETSホールディングス  
 コード番号 1789 URL <https://ets-holdings.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三森 茂  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長 (氏名) 山口 清八郎  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東  
 TEL 03(5957)7661

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第2四半期の連結業績(2019年10月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	3,209	23.1	79	81.9	78	73.9	60	98.4
2019年9月期第2四半期	2,606	6.4	43	25.9	44	22.1	30	30.6

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 60百万円 (98.4%) 2019年9月期第2四半期 30百万円 (30.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	9.53	
2019年9月期第2四半期	4.80	

(注) 2020年9月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、条件付発行可能潜在株式として取り扱われる新株予約権であり、所定の条件を満たしておらず希薄化効果を有していないため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期第2四半期	4,079	2,257	55.3	353.91
2019年9月期	4,024	2,225	55.3	349.38

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 2,254百万円 2019年9月期 2,225百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		0.00		5.00	5.00
2020年9月期		0.00			
2020年9月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,942	25.8	232	45.1	227	41.6	188	73.3	29.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期2Q	6,375,284 株	2019年9月期	6,375,284 株
期末自己株式数	2020年9月期2Q	6,277 株	2019年9月期	6,277 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期2Q	6,369,007 株	2019年9月期2Q	6,369,007 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の業績にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、堅調な企業収益や雇用情勢などを背景に総じて緩やかな回復軌道を歩んでおりましたが、終盤には新型コロナウイルス感染症拡大の影響が企業の生産活動や雇用情勢にも及ぶなど、厳しい状況となりました。

建設業界におきましては、公共投資・民間設備投資ともに底堅く推移しましたが、依然として受注競争の激化や建設技能労働者不足が続くなど、経営環境は厳しい状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、工事量の拡大と利益確保の経営方針を継続し、営業活動の積極的な展開をはかるとともに、労働生産性の向上等の原価低減に努めてまいりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は20億9千6百万円（前年同四半期比20.2%減）、売上高は32億9百万円（前年同四半期比23.1%増）となりました。

利益につきましては、電気工事業における売上増加に伴い売上総利益が増加したことなどにより、営業利益は7千9百万円（前年同四半期比81.9%増）、経常利益は7千8百万円（前年同四半期比73.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は6千万円（前年同四半期比98.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## (電気工事業)

電気工事業については、手持工事が順調に進捗したことなどにより、当第2四半期連結累計期間の受注高は20億9千6百万円（前年同四半期比20.2%減）、売上高は28億4千3百万円（前年同四半期比30.4%増）、セグメント利益（営業利益）は9千1百万円（前年同四半期比58.7%増）となりました。

## (建物管理・清掃業)

建物管理・清掃業については、引き続き価格競争が厳しい環境下であり、当第2四半期連結累計期間の売上高は3億6千6百万円（前年同四半期比14.3%減）、セグメント損失（営業損失）は1千2百万円（前年同四半期は1千4百万円のセグメント損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ5千4百万円増加し、40億7千9百万円となりました。また、負債合計は、前連結会計年度末に比べ2千1百万円増加し、18億2千1百万円となりました。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3千2百万円増加し、22億5千7百万円となりました。

資産の増加の主な要因は、未成工事支出金2千7百万円の減少もありましたが、受取手形・完成工事未収入金等8千8百万円の増加によるものであります。

負債の増加の主な要因は、工事未払金1億1百万円及び未払消費税等1億2千1百万円の減少もありましたが、未成工事受入金2億5千9百万円の増加によるものであります。

純資産の増加の主な要因は、利益剰余金2千8百万円の増加によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1千4百万円増加し、18億4千5百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と増加・減少の要因は次の通りであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、6千万円の増加（前年同四半期は9億1千7百万円の増加）となりました。この主な要因は、売上債権の増加額8千8百万円、仕入債務の減少額9千9百万円及び未払消費税等の減少額1億2千1百万円がありましたが、税金等調整前四半期純利益7千8百万円及び未成工事受入金の増加額2億5千9百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、1千3百万円の減少(前年同四半期は1億6千7百万円の減少)となりました。この主な要因は、定期預金の払戻による収入2億5千万円がありましたが、定期預金の預入による支出2億5千万円及び有形固定資産の取得による支出1千4百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、3千2百万円の減少(前年同四半期は3千5百万円の減少)となりました。この主な要因は、配当金の支払額3千1百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルスの事業活動への影響はありませんでしたが、建設工事の中断や延期等の影響も出てきており、今後の国内建設市場は不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは従業員及び関係する皆様の安全を確保したうえで、引き続き経営成績の向上に注力し、企業価値の向上を目指します。

2020年9月期の通期の連結業績予想数値につきましては、「2019年9月期決算短信(2019年11月14日付)」で公表した連結業績予想を据え置いておりますが、今後の新型コロナウイルスによる影響を注視しつつ、業績へ大きく影響する場合には、速やかに開示します。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	2,246,304	2,261,103
受取手形・完成工事未収入金等	968,009	1,056,532
未成工事支出金	96,947	69,322
未収消費税等	-	70,548
その他	101,395	17,930
貸倒引当金	△614	△16
流動資産合計	3,412,042	3,475,420
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	374,577	385,317
機械・運搬具	415,401	415,551
工具器具・備品	175,949	178,336
土地	328,042	328,042
減価償却累計額及び減損損失累計額	△792,229	△810,594
有形固定資産合計	501,740	496,653
無形固定資産	7,030	4,280
投資その他の資産		
投資有価証券	50,000	50,000
繰延税金資産	26,812	25,954
その他	27,646	26,935
貸倒引当金	△415	△151
投資その他の資産合計	104,043	102,738
固定資産合計	612,814	603,671
資産合計	4,024,856	4,079,092

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	889,339	788,204
短期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	20,091	26,296
未払消費税等	129,321	7,932
未成工事受入金	284,445	543,786
賞与引当金	12,308	9,189
完成工事補償引当金	2,370	680
その他	93,873	81,951
流動負債合計	1,731,750	1,758,040
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	6,163	6,163
退職給付に係る負債	54,651	51,672
その他	7,076	5,544
固定負債合計	67,891	63,380
負債合計	1,799,642	1,821,421
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	989,669	989,669
資本剰余金	763,694	763,694
利益剰余金	649,955	678,812
自己株式	△1,940	△1,940
株主資本合計	2,401,379	2,430,236
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	△176,165	△176,165
その他の包括利益累計額合計	△176,165	△176,165
新株予約権	-	3,600
純資産合計	2,225,214	2,257,671
負債純資産合計	4,024,856	4,079,092

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
<b>売上高</b>		
完成工事高	2,179,843	2,843,244
不動産管理売上高	426,864	365,761
売上高合計	2,606,707	3,209,006
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	1,823,569	2,429,884
不動産管理売上原価	323,809	281,140
売上原価合計	2,147,378	2,711,024
<b>売上総利益</b>		
完成工事総利益	356,273	413,360
不動産管理売上総利益	103,054	84,621
売上総利益合計	459,328	497,981
<b>販売費及び一般管理費</b>		
営業利益	415,488	418,220
<b>営業外収益</b>		
受取利息	3	42
匿名組合投資利益	900	900
その他	3,137	396
営業外収益合計	4,040	1,338
<b>営業外費用</b>		
支払利息	2,515	2,862
その他	367	0
営業外費用合計	2,882	2,862
経常利益	44,997	78,238
税金等調整前四半期純利益	44,997	78,238
法人税、住民税及び事業税	13,235	16,678
法人税等調整額	1,164	858
法人税等合計	14,399	17,536
四半期純利益	30,597	60,701
親会社株主に帰属する四半期純利益	30,597	60,701



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
四半期純利益	30,597	60,701
四半期包括利益	30,597	60,701
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,597	60,701

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	44,997	78,238
減価償却費	28,986	21,113
のれん償却額	2,893	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,057	△861
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,405	△3,119
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△8,361	△2,978
その他の引当金の増減額(△は減少)	△3,153	△1,690
受取利息及び受取配当金	△3	△42
支払利息	2,515	2,862
匿名組合投資損益(△は益)	△900	△900
売上債権の増減額(△は増加)	763,476	△88,258
未成工事支出金の増減額(△は増加)	98,222	27,625
仕入債務の増減額(△は減少)	△559,858	△99,656
未払金の増減額(△は減少)	△193	△5,107
未収消費税等の増減額(△は増加)	226,135	△70,548
未払消費税等の増減額(△は減少)	19,838	△121,389
未成工事受入金の増減額(△は減少)	328,568	259,340
その他	△21,461	79,766
小計	917,241	74,394
利息及び配当金の受取額	17	42
利息の支払額	△2,263	△2,867
法人税等の支払額	△6,422	△10,939
法人税等の還付額	8,671	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	917,243	60,630
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△17,914	△14,985
定期預金の預入による支出	△350,143	△250,156
定期預金の払戻による収入	250,133	250,145
定期預金の担保差入れによる支出	△50,046	—
その他	758	1,189
投資活動によるキャッシュ・フロー	△167,214	△13,807
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	400,000	500,000
短期借入金の返済による支出	△400,000	△500,000
新株予約権の発行による収入	—	3,600
配当金の支払額	△31,573	△31,709
リース債務の返済による支出	△3,676	△3,924
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,249	△32,033
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	714,779	14,788
現金及び現金同等物の期首残高	826,223	1,831,109
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,541,002	1,845,898

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	電気工事業	建物管理 ・清掃業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,179,843	426,864	2,606,707	—	2,606,707
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	405	405	△405	—
計	2,179,843	427,269	2,607,112	△405	2,606,707
セグメント利益又は損失(△)	57,865	△14,025	43,839	—	43,839

(注) 1 売上高の調整額△405千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	電気工事業	建物管理 ・清掃業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,843,244	365,761	3,209,006	—	3,209,006
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	375	375	△375	—
計	2,843,244	366,136	3,209,381	△375	3,209,006
セグメント利益又は損失(△)	91,817	△12,056	79,761	0	79,761

(注) 1 売上高の調整額△375千円、セグメント利益又は損失の調整額0千円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。